

令和５年度第４回長浜市地域公共交通会議 会議録	
日 時	令和６年２月２日（金）９：４５～１１：４２
場 所	長浜市役所本庁舎３階 特別会議室
出席者	出席：轟会長、江畑委員、福島委員、谷川委員、角川委員、野村委員、 北村委員、木下委員、喜田委員、辰野委員、北川委員、服部委員 （以上１２人） 欠席：田中委員、鴻野委員、清水委員、田村委員、藤田委員、朝日委員 松尾委員、野口委員、糸委員、脇坂委員 （以上１０人） 傍聴者：４名 事務局：都市建設部 嶋田部長、一居次長、都市計画課 益田課長 交通対策室 岸田室長、隼瀬係長、福井主事
【司会：岸田室長、説明：隼瀬係長（報告事項）岸田室長（協議事項）】 ■会議録 １ 開会 会議成立の報告 あいさつ 部長（内容省略） 協議事項２ 市内循環線の再編の取り下げについて事務局から報告 ２ 報告事項 （１）長浜市地域公共交通網形成計画の実施計画進捗状況について 【事務局】 資料に基づき説明（内容省略） 【会長】 ご意見、ご質問があればお願いします。 【会長】 特にないようなので、次の報告事項をお願いします。 （２）近江長岡線の幹線化に向けた取組及び路線バスの利用者増加に向けた取組の結果（速報）について 【事務局】 資料に基づき説明（内容省略） 【会長】 ご意見、ご質問があればお願いします。 【会長】 ①近江長岡線の幹線化に向けた取組は実証運行中という取扱いか。今後どのような形で進めるのか。 【事務局】 ６月の地域公共交通会議でご協議いただいた際に、実証運行期間中、特に支障がなければ１月以降も引き続き運行することで承認いただいた。今回、特に問題なく運行できていると判断し、１月以降は本格運行としている。今後は国庫補助金の活用をめざしたいと考えている。	

【会長】

②金土日祝日限定の一日乗り放題の実施は、実施することで市の負担額は増えるのか、減るのか。

【事務局】

資料の細かい分析はできていないが、本来の目的はバスの利用機会を増やすことで、普段乗っておられない方が乗っていただければ増収になる。地域公共交通計画にも「利用促進につながるような割引制度の検討」について記載しており、利用促進につながる割引制度について、引き続き検討していく。

【会長】

実験的に施行し分析を次につなげることでより良い施策になると思うので、ぜひ検討いただきたい。

【委員】

②金土日祝日限定の一日乗り放題について、子どもが部活で路線バスを利用したが、企画が浸透していなかったため、乗り放題券を使わず通常料金で乗車した。子どもに利用を勧めたが、団体行動の中で使えなかったようだ。また、学割になることを帰りのバスの運転士から聞いて初めて知ったようで、企画や制度の周知が足りないように思う。

【事務局】

周知方法について今後検討する。

【会長】

乗り放題は観光地だと乗換ごとに代金を支払わなくてもいいのでとても楽である。財布を出す手間を省けるため、使いたいという方も一定いらっしゃると思う。金額設定も今後検討していただきたい。

3 協議事項

(1) 伊吹登山口線のダイヤ改正について

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いします。

【会長】

特にないので、協議事項1は、原案どおりこれを承認することに異議はないか。
～異議なし～

【会長】

異議なしと認め、本件は協議が調ったものとする。

(3) 令和6年度長浜市生活交通改善事業計画（案）について

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いします。

【会長】

特にないので、協議事項3は、原案どおりこれを承認することに異議はないか。
～異議なし～

【会長】

異議なしと認め、本件は協議が調ったものとする。

(4) 長浜市地域公共交通計画について

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いします。

【会長】

交通は移動手段であり、何の目的で移動していくのが非常に重要。観光や福祉などの関係課と積極的に調整いただきたい。

【委員】

パブリックコメントで、観光 MaaS についてご意見いただいているが、具体的にどのようなことをお考えなのか。

【事務局】

詳細は観光部局で進めているためわからないが、3月から運用を開始すると聞いている。

【委員】

56 頁に網形成計画時の目標値と達成状況を記載いただいている、バスの満足度が目標値 3.0 に対し実績は 2.2 である中、今回地域公共交通計画で様々な施策を計画いただいているものの、再び目標値を 3.0 とされている。目標は高いに越したことはないが、現在満足度が低い中で本当にこの目標値でいいのか。

【事務局】

令和4年度の満足度は 2.24 となっており、計画策定時より下がっているのは、恐らく JR の減便が影響しているのではないかと考えている。9月の地域公共交通会議でもお示したが、3.0 が5点満点中の中央値ということ、網形成計画の目標値が 3.0 だったことから地域公共交通計画も目標値を 3.0 に設定している。この目標はかなり高いと感じているが、様々な施策を展開し、利便性を向上させることで、少しでも目標値に近づくようにしたいと考えている。

【委員】

確かに長浜に来るときに一番困るのはJRの減便だが、3.0 はなかなか厳しいように思う。

【会長】

この満足度はどのような調査か。

【事務局】

市民意識調査の1つの項目として交通の質問がある。

【会長】

満足度を目標値にする場合、なぜ不満なのかがわからないと次につながらない。具体的にどこにテコ入れすると良いのかがわかるような調査にしていっていただきたい。

【委員】

余呉地域の人が乗合タクシーのことを知らなかった。余呉地域の人が乗合タクシーを利用するにはどのようにすればいいのか。

【事務局】

乗合タクシーはバス路線がない地域に導入している。余呉地域については、現在余呉バスでバスの運行をしていただいているので、そちらをご利用いただきたい。

【委員】

貸切のリフトバスを頼むといつもないと言われるため、車いすの方は外出を断念される。ぜひ市としてリフトバスを1台調達していただきたい。

【委員】

当社は保有しているので、ぜひご利用いただきたい。

【会長】

ぜひ情報共有をお願いします。

【会長】

協議事項4は、原案どおりこれを承認することに異議はないか。
～異議なし～

【会長】

異議なしと認め、本件は協議が調ったものとする。

4 その他

【会長】

協議事項は以上となるが、せっかくの機会なので、何かご意見やご質問はないか。

【委員】

乗り放題について、米原は100円で乗れるという情報を聞いた。

【委員】

小判手形のことではないか。

【事務局】

湖国バスで実施されている。高齢者については1ヵ月券などの小判手形を購入すると1回100円で乗車していただける。

【委員】

彦根市内は駅から1km以内であれば100円でバスを乗車していただける。

【委員】

ライドシェアについて市として何かお考えか。

【事務局】

当市としては国の動きを注視している段階で、独自で何か進めることは現在考えていない。

【委員】

バス運転士について募集のチラシを配布させていただいたが、コロナ以前は、こはくちょうバスや高月観音号を乗合タクシーに再編されたことにより、バス運転手を確保できていた。コロナ以降も乗務員確保に努めてきたが、補いきれない状況が続いており、当社でも県内で20名人員が不足している。長浜管内で今年1名の応募があったが、湖北圏内では5名程度不足している状態であり、現在のサービス内容を維持したまま、事業を継続することが難しくなっている。バスに乗らないのに無くすと言われる。また、車に乗れなくなったら乗るとおっしゃるが、車に乗れなくなっている時点でバスにも乗れないと思う。バスが動いている以上、乗務員不足は目に見えてわからないと思うが、かなり厳しい状況であるので、何か知恵があればご教示願う。

【委員】

中日新聞に大型免許を保有されている方は、バス運転手よりも給料が高いトラック運転手に流れてしまうという記事があった。ぜひ運転手不足にならないようにしていただきたい。

【委員】

人材不足はどの職種でも言われているが、公共交通分野はなくなったら本当に大変。交通関係者や市民にアンケートを実施されており、この結果を踏まえた施策を展開できるように会議の場で協議していただきたい。

【会長】

市民の目線も大切だが、担い手の意見も大切にしなければならない時代に突入している。今後、担い手の部分も含めて施策を進めていく必要があると感じている。

【事務局】

来年度以降の地域公共交通会議のあり方について、資料に基づき説明（内容省略）

5 閉 会

(終了)